

## 競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2010 年度(財)日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会要項及び申し合わせ事項により実施する。

2. 練習場および練習について

練習に関する注意事項(プログラムP )を確認のうえ、危険防止に十分注意し、係員の指示に従い行うこと。

3. 招集について

(1) 招集所は、メイン競技場北サブゲート付近(200m スタート外側)に設ける。

(2) 各種目の招集開始時刻と招集完了時刻は、その競技の開始時刻を基準とし下記のとおりとする。

※男女 3000m以上は組ごとに招集時間が異なる。(競技日程 参照)

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻	種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	1～4組 30分前	1～4組 20分前	跳躍競技	50分前	40分前
	5～7組 20分前	5～7組 10分前	(棒高跳)	100分前	90分前
準決勝・決勝	20分前	10分前	投てき競技	50分前	40分前
			(砲丸投)	40分前	30分前

(3) 競技者は、招集開始時刻までには招集所で待機し、係員から点呼を受け、招集完了時刻には係員の誘導により競技場に入る。

(4) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバーカードを受け取る。(招集所で配布する)

(5) 同時に2種目に出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、「2種目出場届け」に記入し、招集開始時刻までに招集所の競技者係に提出する。

(6) リレー競走に出場するチームは、所定のリレーオーダー届用紙に記入し、**招集完了時刻**の1時間前までに、招集所競技者係に提出する。(用紙は招集所に準備する)

(7) 代理人による最終点呼は認めない。招集完了時刻に遅れた場合は、該当種目を棄権したものとして処理する。

4. ナンバーカードについて

(1) ナンバーカードは、配布された大きさのままで明瞭に見えるようにユニフォームの胸部・背部につける。ただし、走高跳、棒高跳は胸・背部のいずれか1枚でよい。

(2) トラック競技に出場する競技者は招集所で配布された腰ナンバーカードを右腰部につける。

ただし、女子 3000m、男女 5000m、男子 10000m、男女 5000mWについては左右の腰部につける。

5. 競技について

(1) トラック競技は全て写真判定装置を、砲丸投を除く投てき競技は光波距離計測装置を使用する。

(2) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載順で行う。

(3) 棄権する競技者は、「棄権届」に所定の事項を記入の上、招集開始時刻までに招集所に届け出る。

(4) 準決勝・決勝の組合せ及びレーン順は、主催者が公正に抽選し決定する。

(5) タイムによる「+α」のある競技種目は、規則第 167 条により決定する。同記録が出た場合は 1000 分の 1 秒単位を考慮して判定し、それでも決められないときは抽選とする。

(6) 三段跳の踏切板は、男子 13m・女子 10mの地点に設置する。

(7) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子走高跳	1m75 1m85	1m80	1m90	1m95	2m00	2m05	2m10	2m15	以後 3cm
女子走高跳	1m40 1m60	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	以後 3cm
男子棒高跳	4m10 5m00	4m20	4m40	4m50	4m60	4m70	4m80	4m90	以後 10cm

① 荒天、その他特別の状況が生じた場合、審判長の判断により変更することがある。

② 棒高跳においては、男子 5m00 の試技の前に足あわせの時間を設ける。

③ 優勝決定のためのバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

- (8)男女 5000mWの競技者は、33 分を過ぎて新たな周回に入ることはいできない。
- (9)女子 3000m、5000m、男女 10000m競走においては競技運営上、先頭走者より著しく遅れた者は、審判長の判断により途中競技を中止させることがある。

## 6. 競技場への入退場について

競技場への入退場は、全ての競技役員の指示により行う。

## 7. 競技用靴・用器具について

- (1)競技場は全天候舗装である。スパイクの数は 11 本以内で、長さ9mm 以下とする。ただし、走高跳とやり投は、12mm 以下とする。また、スパイクの先端近くで長さの半分以上は4mm四方の寸法に適合し先端が鋭利なものは使用できない。
- (2)競技に使用する用具は、すべて競技場備え付けのものを使用すること。  
ただし、棒高跳用ポール、投てき用具は、各人所有のものを検査の上使用することができる。  
検査後の用具は、主催者預かり扱いとし、投てき用具は全競技者が使用できるものとする。  
投てき用具の検査は、各競技種目の競技開始1時間30分前より、招集開始時刻まで101器具倉庫において行う。棒高跳用ポールは競技場所において随時検査を行う。
- (3)フィールド競技で助走路に使用できるマーカーは、主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。サークルから行う競技はマーカーを1 個だけ使用することができる。

## 8. 抗議・上訴について

- (1)競技の結果または行為に関する抗議は、その種目の結果の正式発表後 30 分以内(次のラウンドがある場合は15分以内)に行わなければならない。
- (2)競技の結果または行為に関するいかなる抗議も、まず第一に競技者自身または代理人から審判長に対して口頭でなされなければならない。
- (3)上訴審判員に上告する場合は、審判長によってなされた決定の公式発表から 30 分以内(次のラウンドがある場合は 15 分以内)に、競技者自身または代理人が自書し、担当総務員が署名した文書と、預託金 10,000 円を添えなければならない。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

## 9. ドーピング検査について

日本新記録以上の記録を出した競技者は、ドーピング検査を受けなければならない。検査については、競技役員の指示に従うこと。

## 10. 表彰について

- (1)表彰は各種目決勝終了後に行う。3 位までの入賞者は速やかに表彰控え所に集合すること。
- (2)各種目の優勝者には選手権賞、3 位までに賞状および副賞を授与する。
- (3)優秀選手、敢闘選手、新記録賞、新人賞等の特別賞を与える。

## 11. その他

- (1)トラック競技において、スタート前に脱衣した衣類等は、競技役員が指示した場所に置くこと。  
これらの衣類等は、直ちに係員によってフィニッシュライン付近に運ばれるので、フィニッシュ後各自受け取ること。(4×100mRはアンカーのみ)
- (2)更衣は本競技場1皆の更衣室を使用できる。IDカードを提示し、入室することができる。  
更衣・シャワーのみに使用し、荷物は各自で管理すること。
- (3)貴重品類は各自で保管すること。万一紛失・盗難にあっても主催者は責任を負わない。
- (4)応急処置を必要とする事故が発生した時は、大会本部に連絡し処置を受けること。  
なお応急処置後の治療は個人の負担とし、以後の責任は負わない。
- (5)棒高跳のポールの返送方法については、大会当日に連絡する。送料は競技者負担とする。
- (6)記録証明を必要とする者は、記録主任に申し出ること。(1種目1部 200 円)
- (7)応援については、喧騒にならぬよう自粛すること。度を越す応援についてはこれを規制する。
- (8)本大会の第3 位までの入賞者及び別に定める標準記録到達者は来る9 月 24 日(金)~26 日(日)に開催の全日本実業団大会に出場することができる。(於:新潟県・ビッグスワン)
- (9)本大会入賞者の中から若干名を海外に派遣する。
- (10)大会本部:マロウドイン熊谷(5 月 14 日(金)~16 日(日)) TEL 048-525-7611

## 練習に関する注意事項

1. 練習会場および使用時間は、下記日程表とする。
2. 練習は、競技役員の指示および各チームの監督等の指示のもと、事故防止に十分配慮し行うこと。
3. 練習に使用する用具は、原則として各自持参とする。
4. スパイクのピンの長さは、9mm 以下とする。但し走高跳・やり投については、12mm 以下とする。
5. 練習におけるレーンの使用については、次の通りとする。  
 メイン競技場 1～3レーン＝中・長距離、競歩 ホームストレート4～7レーン＝短距離  
 ホームストレート8・9レーン＝ハードル用 400mH＝ホームストレートを除く8・9レーン  
 補助競技場 1～3レーン＝中・長距離、競歩 ホームストレート4～6レーン＝短距離  
 ホームストレート7・8レーン＝ハードル用 400mH＝ホームストレートを除く7・8レーン
6. ジョッグ・ドリル等はトラック外で行うこと

会場名	競技種目	5月14日(金)	5月15日(土)	5月16日(日)
メイン競技場 ・全天候舗装 ・400m9レーン	トラック種目	13:00～17:00	×	×
	ハードル種目	13:00～17:00	×	×
	走幅跳・三段跳	13:00～17:00	×	×
	棒高跳	13:00～17:00	×	×
	砲丸投	13:00～17:00	×	×
	やり投	13:00～15:30	×	×
補助競技場 ・全天候舗装 ・400m8レーン	トラック種目	10:00～17:00	8:30～18:00	8:00～16:00
	ハードル種目	×	8:30～18:00	9:00～14:00
	走幅跳・三段跳	×	9:00～16:00	8:30～13:00
	走高跳	×	9:00～13:00	×
投てき競技場	円盤投	13:00～15:00	9:00～10:30	×
	ハンマー投	15:00～17:30	11:00～16:00	9:00～10:30
室内練習場	原則として雨天時のみ開放する			